

FRONTIER21における弥生会計の運用について

(達人CubeクラウドAP仮想化サーバーとの連動)

◆FRONTIER21上の弥生会計データから達人CubeクラウドAP仮想化サーバー(法人税の達人、内訳概況書の達人、消費税の達人)への連動をする場合、以下の手順でご利用ください。

※画面は法人税の達人です。

(サンプル) 共有フォルダ名:0033 目黒トレーディング ファイル名:目黒トレーディング(33期～35期)

■FRONTIER21で行う操作

①FRONTIER21のショートカットをダブルクリックして起動し、ログインします。



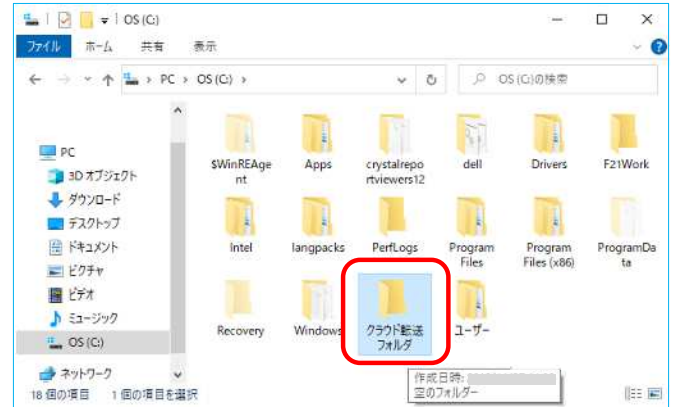
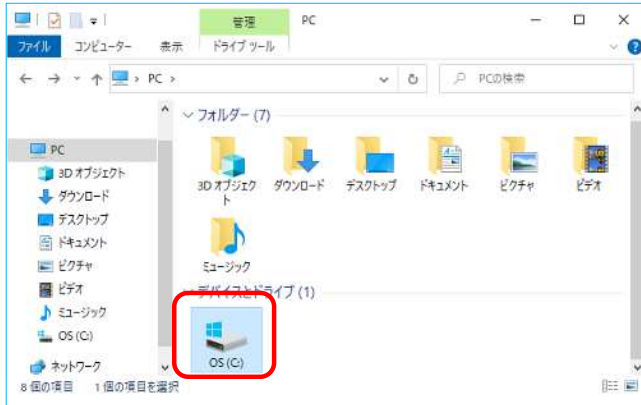
②[ファイルの一覧]画面で、フォルダ名[0033 目黒トレーディング]を選択します(①)。
一覧に表示される【目黒トレーディング(33期～35期)】をダブルクリックして、起動します。
ファイルを終了し、**[状態]を【未送信】にします(②)**。
※送信はせず、右上の[最小化]ボタンをクリックしてください(③)。

◆初期設定の場合、右上の[×]をクリックしFRONTIER21を終了すると、ファイルは自動送信されますので、ご注意ください。



■事前準備

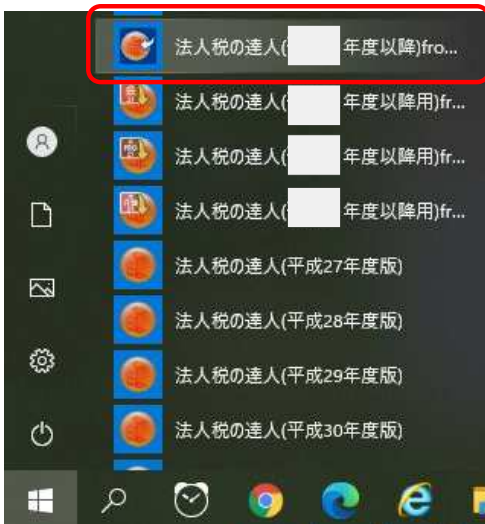
※ローカルPCのCドライブ直下に[クラウド転送フォルダ]を作成します。



■ローカルのPCで行う操作

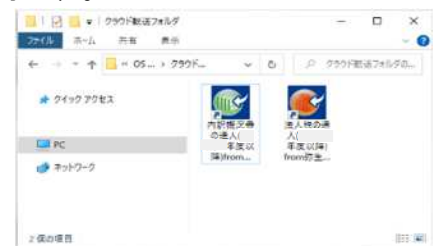
※弥生会計データを中間ファイルで書き出します。

- ①Windowsのスタートボタンをクリックし、すべてをクリックします。
プログラムの一覧が表示されましたら、[達人シリーズ]フォルダ内に格納されている連動コンポーネント
[法人税の達人(●●年度以降用)from弥生会計(Ver.●●以降)]をクリックします。



※連動コンポーネントが表示されない場合は、
株式会社NTTデータ「達人シリーズ」ホームページ
-[データ連動]からインストールを行ってください。

※連動コンポーネントを右クリック-[詳細]-[ファイルの場所を開く]で表示される連動コンポーネントの
ショートカットを[クラウド転送フォルダ]に格納しておく
と次回連動の際に便利です。



- ②[次へ]をクリックします。



- ③[データ種別の選択]画面で、[このコンピューター、またはサーバー上にある事業所データから転送する]を選択し(①)、[次へ]をクリックします(②)。

法人税の連入(年度以降)from弥生会計(Ver. 以降)

データ種別の選択

「法人税の連入」へ転送する事業所データの種別を選択してください。

①

☒ このコンピューター、またはサーバー上にある事業所データから転送する(Q)

☐ 弥生ドライブにある事業所データを転送する(D)

☐ 弥生オンラインの事業所データを転送する(Q)

②

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

- ④[データの選択]画面に、自動でFRONTIER21上の【未送信】状態のファイルが表示されます。
【目黒トレーディング(33期～35期).KD●●】を選択し(①)、[次へ]をクリックします(②)。

法人税の連入(年度以降)from弥生会計(Ver. 以降)

データの選択

「法人税の連入」へ転送する事業所データを選択してください。

①

事業所データ	会計
目黒トレーディング(33期～35期).KD●●	

参照先(L)...

②

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

- ⑤[処理年度の選択]画面で該当の処理年度を選択し(①)、[次へ]をクリックします(②)。

法人税の連入(年度以降)from弥生会計(Ver. 以降)

処理年度の選択

「法人税の連入」へ転送する処理年度を選択してください。

処理年度の選択	
決算期	会計期間
第33期	
第34期	
第35期	

①

②

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

⑥[決算の種類の選択]画面で対象となる期間を選択し(①)、[次へ]をクリックします(②)。

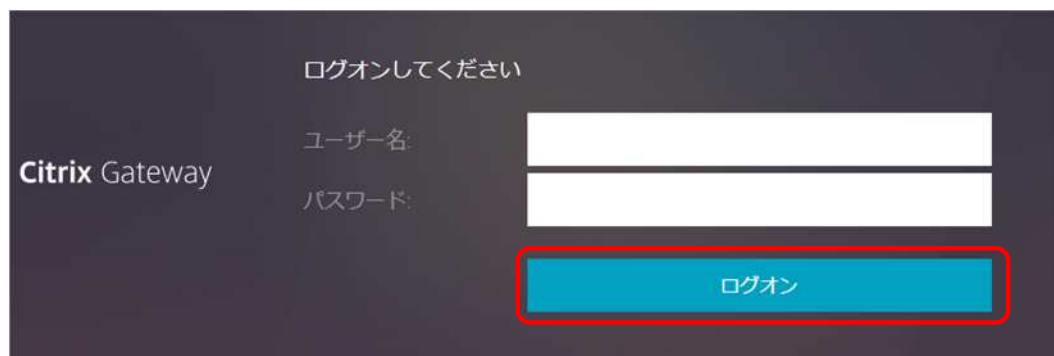
⑦[転送データの作成]画面で[参照]をクリックします(①)。
[クラウド転送フォルダ]を選択し(②)、[保存]をクリックします(③)。その後[作成開始]をクリックします(④)。

⑧[転送データの作成完了]画面が表示されましたら、[完了]をクリックします。

■クラウドAP仮想化サーバー上で行う操作

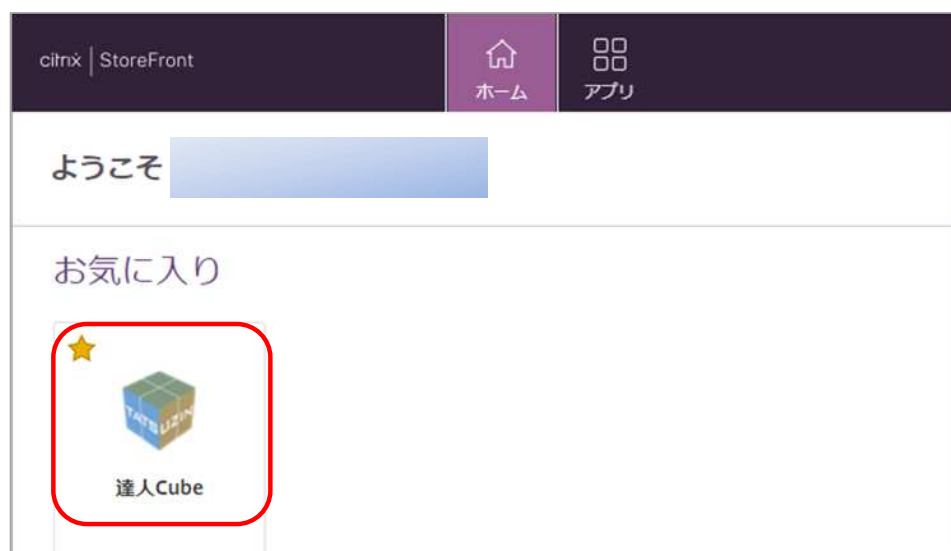
※書き出した中間ファイルをクラウドAP仮想化サーバー上で取り込みます。

①クラウドAP仮想化サーバーにユーザー名、パスワードを入力後、ログインします。

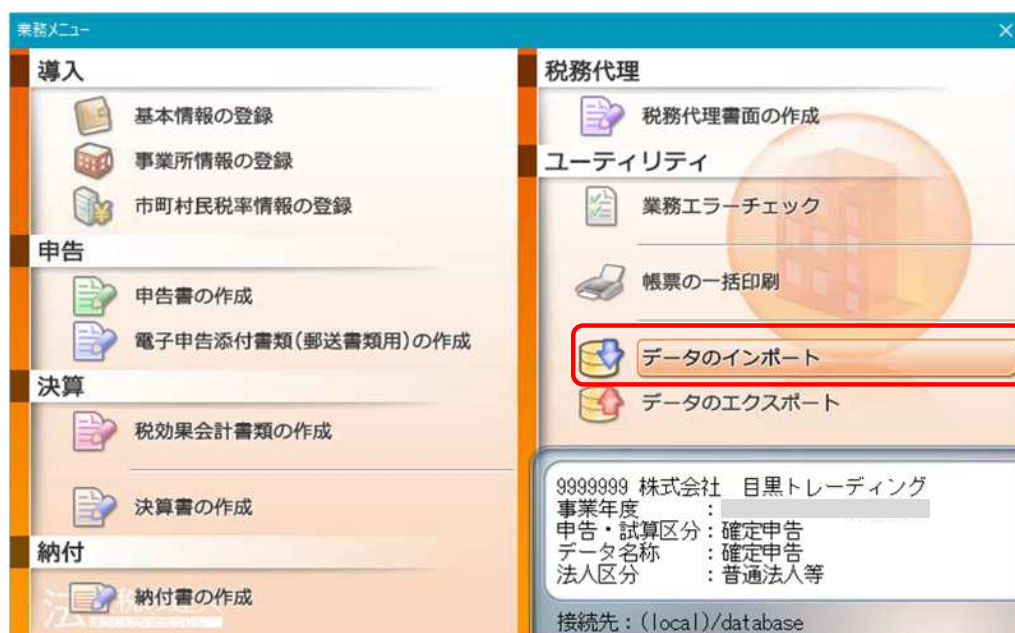


The image shows the Citrix Gateway login interface. At the top, it says 'ログオンしてください' (Please log on). Below this, there are two input fields: 'ユーザー名:' (Username) and 'パスワード:' (Password). A blue 'ログオン' (Log on) button is located at the bottom right, highlighted with a red rectangle.

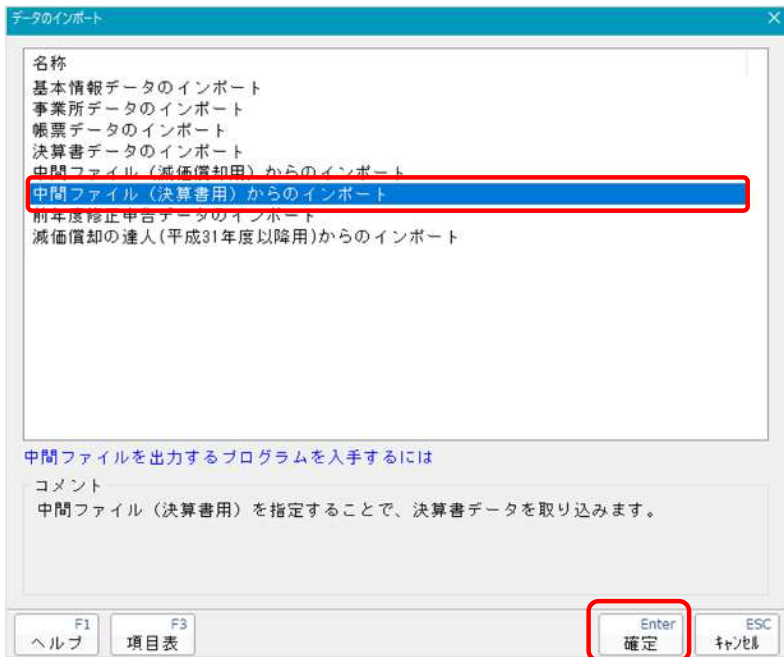
②達人Cubeを開き、ログインします。



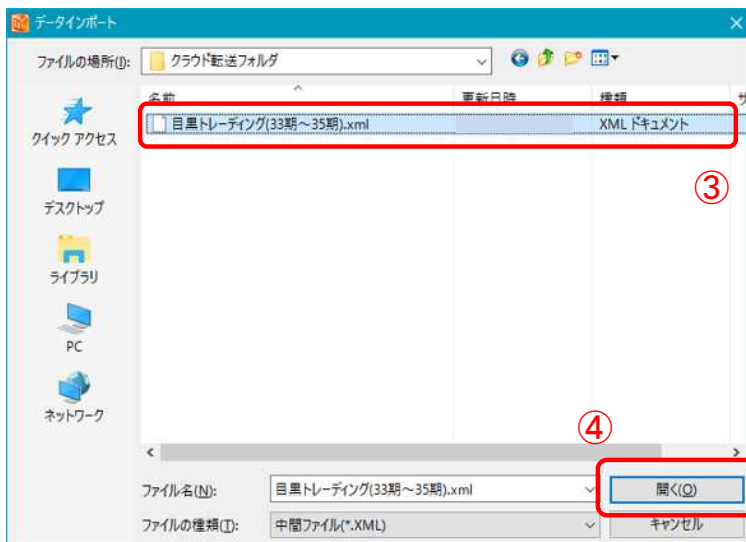
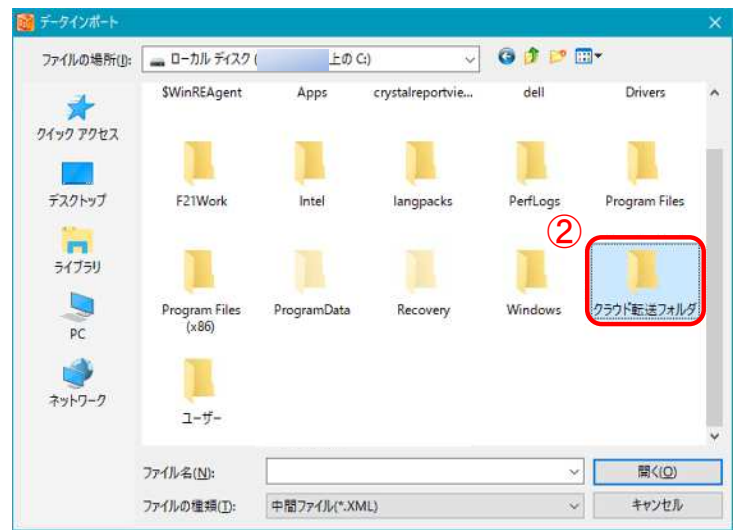
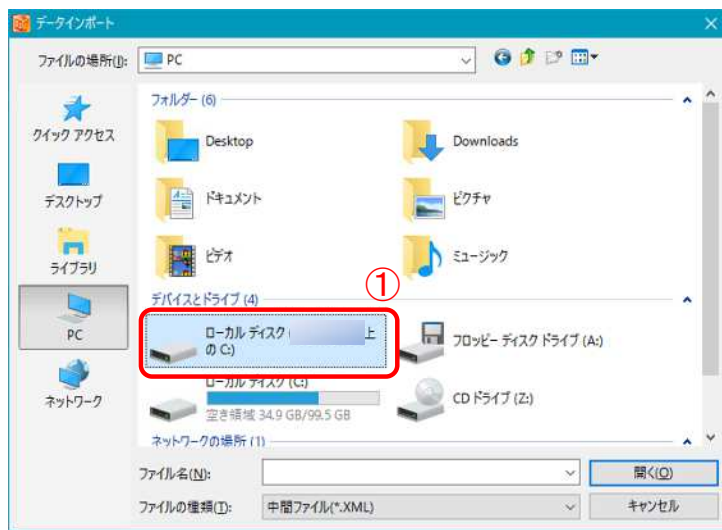
③法人税の達人からデータを開き、業務メニュー>[データのインポート]をクリックします。



④[中間ファイル(決算書用)からのインポート]を選択し、[確定]をクリックします。



⑤[データインポート]画面で、[PC]-[ローカルディスク([PC名]上のC:)]を開きます(①)。
[クラウド転送フォルダ]を開き(②)、[目黒トレーディング(33期～35期)]を選択し(③)、[開く]をクリックします(④)。



⑥ウィザードに沿ってインポート完了まで進んでください。

※注意※

連動後の詳しい手順については、[達人Cube]>[情報コミュニティ]内のマニュアルをご確認ください。

■最後に、FRONTIER21で行う操作

- ①連動操作が終わりましたら、FRONTIER21を開き、右上の[×]で終了します。
※ファイルは自動送信されます。



●本マニュアルについて

本マニュアルはFRONTIER21の操作方法を記載しています。
マニュアル内の操作は、Windows11で行っています。

●商標について

本文中に記載されている会社名、製品名、ソフトウェアなどについては、各社の商標
または登録商標です。

●著作権について

本マニュアルのすべての内容は、著作権法によって保護されています。
株式会社オリコンタービルの許可を得ず、転載・複写・複製などはできません。

●免責について

本マニュアルに記載されている内容および仕様、デザインなどは、
改良のために予告なく変更することがあります。
あらかじめご了承ください。

2512